

平成23年度

平成23年10月12日
松ヶ崎小学校学校運営協議会
広報委員会

第二回学校運営協議会 理事会が開催されました！

平成23年度 第2回学校運営協議会理事会が下記の要項で開催されました。今回のコミュニティ・ニュースは、「第1回学校評価結果」を報告し、理事の皆様より貴重なご意見をいただきましたのでご報告させていただきます。

平成23年度
松ヶ崎小学校
学校運営協議会 第2回理事会

平成23年9月16日 午後7時
松ヶ崎小学校 ふれあいサロン
司会:池田 利勝 教頭
記録:久保 賢洋 教務主任

- 1 あいさつ 岩崎 猛彦 理事長
 高向 健次 学校長
- 2 案 件 ① 今年度第1回学校評価結果について
 ② 小大連携事業(特に、「松ヶ崎地域新マップづくり」)について
 ③ その他

☆あいさつについて

- ▶あいさつは、相手に聞こえるように言うことが大切だ。
- ▶知っている人にはあいさつをする、指導者にはあいさつをする、ではなくて、誰にでも出会ったらあいさつができる子どもにしていく必要があるのではないか。
- ▶大人、特に学校においては教職員が率先してあいさつする姿を見せていかねばならない。
- ▶例えば、朝の登校時には、辻々で立っている人にあいさつをすると、何度もあいさつをすることになり、それを嫌がる(一度したらいいと思う)児童もいるようだ。このような意識を変えていく必要があるのではないか。
- ▶「出来ていない」を「出来る」ようにさせていくことが、家庭でも学校でも大切なことである。
- ▶子どもは社会を映す鏡。大人の様子が映し出されているという意識を、学校、家庭、地域の大人自身が、もっと持たなければならぬ。

☆お手伝いについて

- ▶「わからない」というのは、良い意味で理解すると、お手伝いを無意識のうちでやっている、当たり前のようにお手伝いをしているということか。
- ▶お手伝いについて、子どもはどう感じているのか知りたい。
- ▶お手伝いについては、家庭でしっかり話し合っ決めて決めることが大事ではないか。
- ▶私たちが子どもの時代は、お手伝いをする機会が多かったが、今はどうだろう。そういう機会は少ないのではないだろうか。親もお手伝いをあまり要求しないのではないか。また、子どもがお手伝いをして、親はあまり感謝しないのではないだろうか。
- ▶子どものしていることと親の要求との間にギャップがあるのではないか。
- ▶家庭では、どんなことができていないのか。また、できている家庭は、どんなことがどのようにできているのか。具体的に知りたいと思う。

☆規範意識について

- ▶家庭における規範意識をもっと向上させることが大事だ。
- ▶PTAや地域の行事に参加するときの子どもの規範意識は低いように思う。学校では守れるが、地域では守れない傾向が見られる。いけないことをしていたら、周囲にいる大人がきちんと注意したり教えたりして守らせていく必要があるのではないか。学校・地域の別なく、大人として同じ基準で指導・しつけをしていくことが望まれる。
- ▶「規範となる基準」「ルール」をしっかり示して、規範を教えること、それをきちんと守らせることが大事だ。きまりを守る子どもを育てていきたい。
- ▶子どもにとって、家庭のしつけがまず一番。次に学校。

* 貴重なご意見・ご感想ありがとうございました。次回の評価ではさらなる充実を目指して、取組を進めてまいりたいと思います。